

姫路獨協大学

2022年度後期「学生による授業評価」アンケート

～調査結果報告書～

I. 調査の概要

1) 調査目的

調査結果を各授業担当教員にフィードバックすることにより、次学期以降の教育内容・方法等の改善に資することを目的とする。

2) 調査項目

- ・学生の属性に関する項目(学年、学科等、学生区分)
- ・学生の受講態度に関する項目(出席状況、マナー、一週間あたりの勉強時間)
- ・教員の授業に関する基本的な質問(話し方、教材の活用、目的明示、授業開始・終了時刻、授業の進度)
- ・教員の授業に関する姿勢についての質問(熱意、質問への対応、秩序維持、公平性)
- ・授業の内容に関する質問(シラバス準拠、わかりやすさ、新しい知見)
- ・授業に対する満足度に関する質問(学習意欲増、他の学生に推薦したい、総合満足度)
- ・各担当教員の希望オプション質問項目
- ・自由記述(良かったところ、改善すべきところ、授業評価アンケートに対する意見・要望等)
(※体育科目については、一部の質問を別の質問に替えて実施した)

3) 調査対象

- ・学部 of 全学生を対象に、開講している全ての授業科目(担当教員の専任・非常勤は問わない)について調査を実施する。

なお、複数の授業科目を受講している学生は、受講科目ごとに重複して調査対象に数えるものとする。

4) 調査方法

- ① アンケート用紙は、講師控室(メールボックス)にて各授業開始前に教員へ配付する。
- ② 各授業の担当教員が授業開始時に学生へアンケート用紙を配付する。
- ③ アンケート用紙の回収は、学生(代表者を選出する)によって行い、その場で封緘する。
- ④ 代表として選出された学生は、回収したアンケート用紙を所定の場所(教務課)へ提出する。

5) 調査期間

原則として1 Semester 15週のうち12～15週目に実施する。

2022年12月19日(月)～2023年1月23日(月) ※第1週目に調査実施、第2週目は予備日とする。

6) 調査主体

姫路獨協大学 FD委員会

7) データ入力・集計・分析等の委託機関

株式会社 アイピーリサーチ

〒540-0025 大阪府中央区徳井町2-2-2 テツタニビル3F
TEL 06-6944-0977 FAX 06-6944-0979 URL <http://www.ip-r.co.jp/>

8) 調査対象者数、回答者数、回収率等

	調査対象科目数	調査実施科目数	調査実施率
授業科目ベース	517科目	402科目	77.8%

※「調査対象科目数」「調査実施科目数」は、調査の実施単位・集計単位による科目数である。

	延べ調査対象者数	延べ有効回答者数	有効回収率
受講者ベース	12,182名	7,171名	58.9%

※「延べ調査対象者数」「延べ有効回答者数」は、複数の授業科目を受講・回答している学生を重複してカウントした。

〈回答者内訳〉

学年	件数	構成比
1年	2,510	35.0%
2年	2,573	35.9%
3年	1,252	17.5%
4年	612	8.5%
5年	0	0.0%
6年	44	0.6%
無回答	180	2.5%
合計	7,171	100.0%

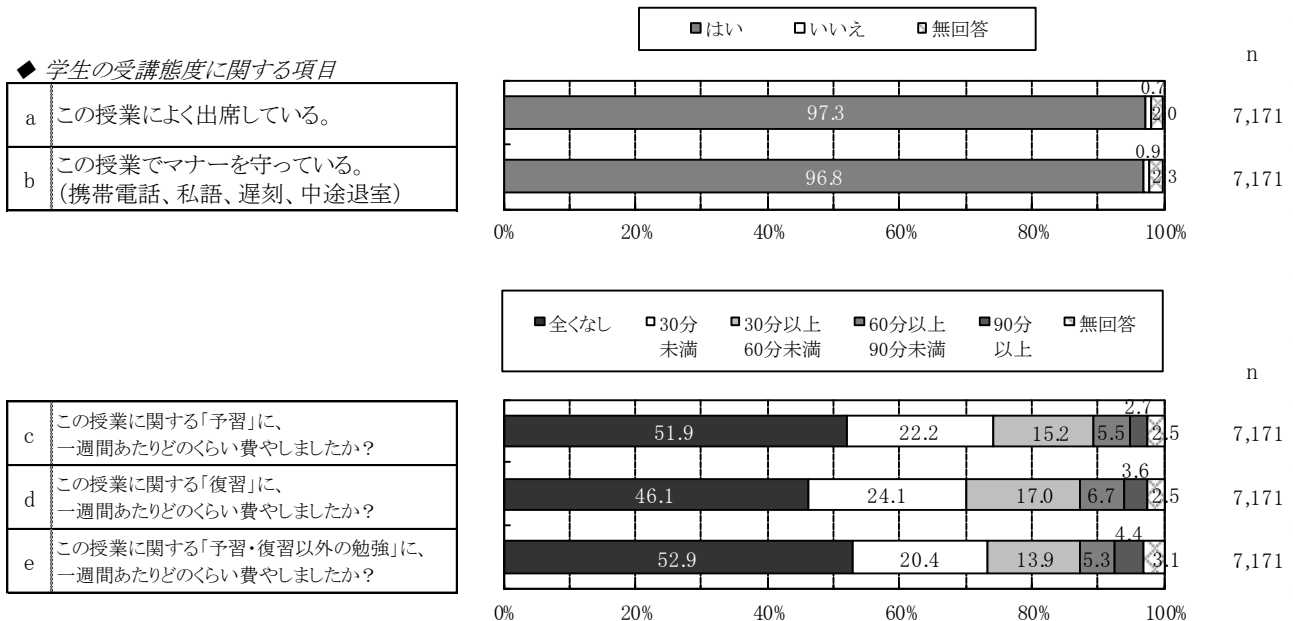
学生区分	件数	構成比
学部生	5,799	80.9%
その他	131	1.8%
無回答	1,241	17.3%
合計	7,171	100.0%

学部・学科	件数	構成比	
人間社会学群	2,404	33.5%	
医療保健学部	2,048	28.6%	
(内訳)	理学療法学科	783	10.9%
	作業療法学科	360	5.0%
	言語聴覚療法学科	511	7.1%
	こども保健学科	1	0.0%
臨床工学科	393	5.5%	
薬学部	1,143	15.9%	
看護学部	1,368	19.1%	
無回答	208	2.9%	
合計	7,171	100.0%	

II. 調査の結果

◆ 学生の受講態度に関する項目

- 『(a)この授業によく出席している』かどうかについては、「はい」が97.3%を占め、「いいえ」は1%未満である。
- 『(b)この授業でマナーを守っている(携帯電話、私語、遅刻、中途退室)』かどうかについても、「はい」が96.8%を占め、「いいえ」は1%未満である。
- 『(c)この授業に関する「予習」に、一週間あたりどのくらい費やしたか』については、「全くなし」が51.9%であり、半数強の学生が当該授業の予習を全くしていない。一方、予習を30分以上している割合は23.4%、60分以上している割合は8.2%、90分以上している割合は2.7%となっている。
- 『(d)この授業に関する「復習」に、一週間あたりどのくらい費やしたか』については、「全くなし」が46.1%であり、半数弱の学生が当該授業の復習を全くしていない。一方、復習を30分以上している割合は27.3%、60分以上している割合は10.3%、90分以上している割合は3.6%となっている。
- 『(e)この授業に関する「予習・復習以外の勉強」に、一週間あたりどのくらい費やしたか』については、「全くなし」が52.9%であり、半数強の学生が当該授業に関する予習・復習以外の勉強を全くしていない。一方、予習・復習以外の勉強を30分以上している割合は23.6%、60分以上している割合は9.7%、90分以上している割合は4.4%となっている。
- 以上より、授業中の受講態度に関する学生の自己評価は何れも高いものの、「予習」「復習」「予習・復習以外の勉強」については、全くしない学生は各々半数前後にのぼる一方、一週間あたり30分以上している学生は何れも2割台半ば、60分以上している学生は1割前後に留まる。



◆ 教員の授業に関する基本的な質問

- ・『(1) 教員の話し方は明瞭で、授業内容がよく聞き取れる』かどうかについては、「非常にそう思う」が63.6%、「そう思う」が27.1%で、両者を合わせた肯定的評価は91%である。
- ・体育科目では、上記質問に替えて『(1) 教員の説明・指示の仕方はわかりやすかった』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が77.1%、「そう思う」が17.1%で、肯定的評価が94%である。
- ・『(2) 教員は、教材(教科書、レジュメ、パワーポイント等)または教育設備(ホワイトボード等)を適切に活用している』かどうかについては、「非常にそう思う」が65.6%、「そう思う」が26.2%で、肯定的評価は92%である。
- ・体育科目では、上記質問に替えて『(2) 教員は、授業での課題呈示(教材や運動の種類等)を適切に活用している』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が77.9%、「そう思う」が17.9%で、肯定的評価が96%である。
- ・『(3) 教員は、授業のテーマや目的を明確に示している』かどうかについては、「非常にそう思う」が65.7%、「そう思う」が26.0%で、肯定的評価は92%である。
- ・体育科目では、上記質問に替えて『(3) 毎回、少しでも運動技術は上達している』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が79.3%、「そう思う」が16.4%で、肯定的評価が96%である。
- ・『(4) 教員は、授業の開始時刻を守っている』かどうかについては、「非常にそう思う」が69.5%、「そう思う」が23.5%で、肯定的評価は93%である。
- ・『(5) 教員は、終了時刻よりも大幅に早く授業を打ち切ることはほとんどない』かどうかについては、「非常にそう思う」が68.9%、「そう思う」が24.0%で、肯定的評価は93%である。
- ・『(6) 教員は、終了時刻を大幅に超過して授業を続けることはほとんどない』かどうかについては、「非常にそう思う」が70.0%、「そう思う」が22.9%で、肯定的評価が93%である。
- ・『(7) この授業の進度は適切である』かどうかについては、「非常にそう思う」が65.2%、「そう思う」が24.5%で、肯定的評価は90%である。
なお、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた否定的評価(全体の1.6%)をつけた学生に対し、進度が速いのか遅いのかを重ねて質問したところ、「速すぎる」が(否定的評価者全体の)52%、「遅すぎる」が22%、また、無回答は26%にのぼる。
- ・以上より、[教員の授業に関する基本的な質問]に対する学生の評価は総じて高く、問(1)～問(7)の肯定的評価(体育科目固有の質問を除く)は各々90～93%となっている。体育科目固有の質問ではさらにその傾向が顕著で、問(1)～問(3)の肯定的評価は各々94～96%となっている。

◆ 教員の授業に関する姿勢についての質問

- ・『(8) 教員の授業態度に熱意が感じられる』かどうか、『(9) 教員は、学生からの質問等に適切に対応してくれる』かどうか、『(10) 教員は、授業の秩序を保つための努力を行っている』かどうか、『(11) 教員は、学生に対して公平に接している』かどうかについては、肯定的評価は各々91%となっている。
上述の[教員の授業に関する基本的な質問]に引き続き、[教員の授業に関する姿勢]に対しても学生の評価は総じて高い。

◆ 授業の内容に関する質問

- ・『(12) 授業内容は、シラバスに示された内容を満たしている』かどうかについては、「非常にそう思う」が66.3%、「そう思う」が25.2%で、肯定的評価は92%である。
- ・『(13) 授業内容の説明は、わかりやすく、理解できる』かどうかについては、「非常にそう思う」が63.4%、「そう思う」が25.4%で、肯定的評価は89%である。
- ・『(14) この授業を通じて、新しい知識を得たり、物の見方や考え方が学べる』かどうかについては、「非常にそう思う」が62.6%、「そう思う」が25.6%で、肯定的評価は88%である。
- ・体育科目では、上記質問に替えて『(14) この授業を通じて、運動・スポーツや健康に対する興味や関心が深まった』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が80.0%、「そう思う」が15.7%で、肯定的評価が96%である。前出の体育科目固有の3質問と合わせて見ると、体育科目固有の計4質問では、肯定的評価は94%～96%となっており、否定的評価はほとんど発生していない。
- ・以上より、[授業の内容に関する質問]に対する学生の評価も総じて高く、問(12)～問(14)の肯定的評価(体育科目固有の質問を除く)は各々88～92%となっている。

◆ 授業に対する満足度に関する質問

- ・『(15) この授業に触発されて、さらに学習意欲を持つようになった』かどうかについては、「非常にそう思う」が59.5%、「そう思う」が25.4%で、肯定的評価は85%である。また、否定的評価は3%、「どちらとも言えない」は12%となっている。
- ・『(16) この授業を他の学生や後輩に推薦したいと思う』かどうかについては、「非常にそう思う」が61.4%、「そう思う」が24.4%で、肯定的評価は86%である。また、否定的評価は3%、「どちらとも言えない」は11%となっている。
- ・以上の各質問の総合的な評価・総合満足度としての『(17) 総合的にみて、この授業を受講して満足している』かどうかについては、「非常にそう思う」が62.2%、「そう思う」が24.9%で、肯定的評価は87%である。また、否定的評価は3%、「どちらとも言えない」は10%となっている。
- ・以上より、[授業に対する満足度に関する質問]に対する学生の評価は概ね高く、問(15)～問(17)の肯定的評価は各々85～87%となっており、8割を大きく超える学生に対して満足を提供できているといえる。ただし、前出の[教員の授業に関する基本的な質問][教員の授業に関する姿勢についての質問][授業の内容に関する質問]に属する各質問と比較すると、[授業に対する満足度に関する質問]に属する3質問は肯定的評価がやや低い傾向が見られる。次頁のグラフを参照されたい。

◆ 教員の授業に関する基本的な質問

1	教員の話し方は明瞭で、授業内容がよく聞き取れる。 《体育科目》 教員の説明・指示の仕方はわかりやすかった。
2	教員は、教材(教科書、レジュメ、パワーポイント等)または教育設備(ホワイトボード等)を適切に活用している。 《体育科目》 教員は、授業での課題呈示(教材や運動の種類等)を適切に活用している。
3	教員は、授業のテーマや目的を明確に示している。 《体育科目》 毎回、少しでも運動技術は上達している。
4	教員は、授業の開始時刻を守っている。
5	教員は、終了時刻よりも大幅に早く授業を打ち切ることがほとんどない。
6	教員は、終了時刻を大幅に超過して授業を続けることはほとんどない。
7	この授業の進度は適切である。

◆ 教員の授業に関する姿勢についての質問

8	教員の授業態度に熱意が感じられる。
9	教員は、学生からの質問等に適切に対応してくれる。
10	教員は、授業の秩序を保つための努力を行っている。
11	教員は、学生に対して公平に接している。

◆ 授業の内容に関する質問

12	授業内容は、シラバスに示された内容を満たしている。
13	授業内容の説明は、わかりやすく、理解できる。
14	この授業を通じて、新しい知識を得たり、物の見方や考え方が学べる。 《体育科目》この授業を通じて、運動・スポーツや健康に対する興味や関心が深まった。

◆ 授業に対する満足度に関する質問

15	この授業に触発されて、さらに学習意欲を持つようになった。
16	この授業を他の学生や後輩に推薦したいと思う。
17	総合的にみて、この授業を受講して満足している。

